

平成23年深谷市教育委員会第4回臨時会会議録

深谷市教育委員会

平成23年深谷市教育委員会第4回臨時会

日 時	平成23年7月28日(木)
開 会	午後1時30分
閉 会	午後3時40分
場 所	教育委員会 3階 大会議室
出席委員	委 員 長 塩 谷 治 代 委員長職務代理者 柿 澤 俊 雄 委 員 田 中 章 子 委 員 西 倉 郁 夫 教 育 長 小 柳 光 春
出席職員	次 長 五十嵐 治 郎 次 長 豊 田 尚 正 次 長 澤 出 晃 越 教育総務課長 新 堀 浩 一 教育施設課長 大 川 清 学校教育課長 神 田 昌 文 生涯学習課長補佐 鳥 羽 政 之 図書館長 小 暮 利 明
書 記	教育総務課 葦 塚 洋 明 課 長 補 佐

1 開 会

委員長が開会を宣告

2 前回議事録の承認

第7回定例会の会議録を全員異議なく承認。

3 会議録署名委員の指名

委員長が塩谷委員（1号委員）並びに田中委員（3号委員）を指名。

4 会議の概要

(1) 会議

- ① 議事1 議案第39号 平成24年度使用中学校用教科用図書の採択について【一部非公開】
学校教育課長より説明
- ② 議事2 議案第40号 深谷市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則
学校教育課長より説明
- ③ 議事3 議案第41号 深谷市立小・中学校職員服務規程の一部を改正する訓令
学校教育課長より説明

(2) 発言の要旨

- ① 議事1 議案第39号 平成24年度使用中学校用教科用図書の採択について【一部非公開】
委 員 長 議案第39号「平成24年度使用中学校用教科用図書の採択
について」であります。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項ただし書き、及び深谷市教育委員会会議規則第11条第1項第5号の規定により説明、質疑は公開をし、討論、採決のみ非公開とすることによろしいでしょうか。

(全員賛成)

議案第39号は、公開での質疑終了後、討論、採決の部分を非公開とします。

委 員 長 議事を進めます。

本議案については、教科用図書の採択の仕組みについて説明を求めた後、質疑を受けることとします。その後、教科用図書の種目ごとに説明を求め、各種目ごとに質疑を受けることといたします。

全種目について、説明及び質疑が終了した後、各種目ごとに討論を行い、その後本議案について採決を行います。

義務教育諸学校用教科書の採択の仕組みについて事務局より説明を求めます。

学校教育課長 (別紙資料の概要を説明)

委 員 長 採択の仕組みについて質疑はありませんか。

(質疑なし)

委 員 長 質疑なしと認め、各種目について説明を求めます。

- 初めに、国語の教科用図書について、説明を求めます。
- 学校教育課長 専門員会では、すべての教科書について研究を進めていただき、その中で特に東京書籍(P1)、教育出版(P4)、光村図書(P5)の3つの教科用図書を中心に調査報告を受け、協議会といたしましては、協議の結果、P4の教育出版が最も適切であると判断、選定されました。選定の理由を説明します。
- 1点目は、配列を領域別にし、各教材を使って何を学ぶのが最も強く意識されているからです。
- 教育出版の教科書は、他社と違い、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の教材を、「読むこと」の教材と明確に切り離れたことにより、教師にも生徒にも本時で学ぶ学習内容について、一層意識した学習展開ができると考えています。
- また、教育出版では、小学校の教材「ごんぎつね」が取り上げられており、小学校で学習した成果を活用して新たな視点の学習と結びつけている教材があるということで、小・中学校の学習をうまくつなぐ教材としても魅力を感じました。
- 小・中の連続性を意識した学習指導を具体化する視点として提案性もあると考えられます。さらには、埼玉県全体で取り組んでいる「教育に関する3つの達成目標」と関連する教材も多いと言うことも重要であると考えました。以上です。
- 委員長 国語の教科用図書について、質疑はありませんか。
- 柿澤委員 4ページで「古典芸能や古典教養にかかわる教材云々」とありますが、具体的にどのようなものがあげられますか。
- 学校教育課長 教育出版では「伝統文化と言語」ということで、「落語」「歌舞伎」「狂言」などをあげています。
- 教育長 教材の配列が他の出版社とはずいぶん違い、系統立った配列だが、深谷の中学校の先生方の場合、どういった考えを持っていますか。
- 学校教育課長 指導に際して、年間指導計画との教材配列、補助資料等について十分に事前に教材研究を行っていますが、使い慣れた先生においては創意工夫して活用することができ、特に国語の専門性が高い中学の先生にとっては使いやすいと考えます。
- 西倉委員 来年度から全体的に授業時間数が変わると思いますが、実際に新しい時間配分で、この内容ですべてが消化しきれぬ内容ですか。
- 学校教育課長 国語等の教科についても教科書が厚くなり、授業で扱う教材等もかなり多くなっていますが、各学校の生徒の実態に応じて、すべてを教えるわけではなく、その中で教えなければならないものはきちんと教え、習得・探究の内容についても活用し、各学校で年間指導計画に基づき指導しますので、大丈夫です。
- 委員長 生徒が主体的に学習に取り組めるように、具体的にどのような工夫がされていますか。

学校教育課長 卷末に学習内容を示し、学習の見通しを持ちやすくしています。また「学習記録シート」で、学習内容、学習成果について自己評価できるようになっており、生徒の興味や関心を引くような教材を盛り込んでいます。

委員長 次に、書写の教科用図書について、説明を求めます。
学校教育課長 専門員会では、すべての教科書について研究を進めていただき、その中で特に、東京書籍(P6)、教育出版(P10)、光村図書(P11)の3つの教科用図書を中心に調査報告を受け、協議会といたしましては、協議の結果、P10の教育出版が最も適切であると判断、選定されました。選定の理由を説明します。

第1に、手本となる文字の均整、バランスが取れていることがあげられます。毛筆、手本の中心が記号で示され、筆使いのポイントが、記号や点線、濃淡の色使いの穂先の図版などで視覚に訴えており、生徒にとっては大変書きやすくなっていると思います。

さらに、穂先が朱くなっており、行書特有の筆の穂先の動きが非常に分かりやすくなっております。

第2に、学習の流れをわかりやすく示し、楷書と行書が常に併記されており、毛筆と硬筆の学習の関連を図りながら、指導することが出来るように配慮されていることがあげられます。

以上です。

委員長 書写の教科用図書について、質疑はありますか。
教育長 学校の先生方はずっと教育出版社のものを使っていたと思うが、今回の選定についてどのような意見を持っていますか。

学校教育課長 先生方からは特に、1年と2、3年の計2冊で構成されたことから、大変指導しやすくなっているのではないかという印象が多かったようです。内容については、巻末の補助教材集もかなり充実してきているのではとの意見がありました。

委員長 国語、書写と教育出版が選定されていますが、国語科として同じ出版社の方が指導しやすい、関連の繋がりがあるといったことはあるのでしょうか。

学校教育課長 確かに同じ出版社の場合は、教科書のページ構成等で生徒にとっては使いやすいという点はあると思いますが、採択については、そういう視点は取り除き、子どもや指導者にとって、この教科書が最適なのかという観点で選定しています。

委員長 次に、地理の教科用図書について、説明を求めます。

学校教育課長 社会科につきましては、地理、歴史、公民、地図の4種目を協議するにあたり、社会科の専門員長より、選定に係る方針について、次の2点が報告されております。

① 社会科の授業における長年の課題となっている「教員によ

る講義式授業からの脱却」のため、教科用図書を用いることにより、生徒一人ひとりの主体的な活動が促されるような工夫のあること。

② ベテラン教員の大量退職に伴い、若い教員が増えてきている現状を踏まえ、若い先生方でも、学習指導要領改訂の柱である言語活動の充実と、社会の授業を通して、生徒の思考力、判断力、表現力の育成が着実に図れるような内容、ページ構成の工夫があること。

それでは最初に、地理の教科用図書について申し上げます。

専門員会では、すべての教科書について研究を進めていただき、その中で特に、東京書籍(P12)、教育出版(P13)、帝国書院(P14)の3つの教科用図書を中心に調査報告を受け、協議会といたしましては、協議の結果、P12の東京書籍が最も適切であると判断、選定されました。選定の理由を説明します。

他の教科書に比べて版が大きい、AB版となっています。ページ構成ですが、基本的には見開き2ページで1時間という学習の流れになっております。その大きな版を生かして、学習課題やその時間に使えるような写真資料や統計資料等が効果的に配置されており、学習の流れを生徒が把握し、自主的な活動につながられる構成になっております。

見開きの右下、最後には学習のまとめができるように、活動が示してあることも特徴といえます。以上です。

委員長
柿澤委員

地理の教科用図書について、質疑はありませんか。

見やすい教科書、興味関心の観点から、東京書籍はどのような工夫をしているのでしょうか。

学校教育課長

東京書籍については、資料が上手く配置されています。資料の個数は他の出版社とほぼ同じですが、生徒の興味関心を引くように配置されている点では、他より秀でていたといった協議がなされています。

教育長

今年、初めて深谷で教科書展示場ができたが、そこに寄せられた一般の方や、学校の先生方からの、地理だけでなく他の教科についての意見は、どのように集約されているのですか。

学校教育課長

展示場には、教職員、一般の方等、計500名程度訪れました。アンケートには一般の方からは少数ではありますが、いろいろな考えが入ってありました。学校については、各学校で研究された内容が教育委員会に報告されています。その結果、地理については東京書籍が9校、教育出版社が1校でした。

田中委員

生徒や先生が使いやすいものだと思いますが、内容だけでなく印刷やカットの入れ方、装丁の仕方等で違いはありますか。

学校教育課長

基礎・基本を定着させたり、わかりやすく、興味関心を持た

せる等の工夫はされているが、両面2ページを開いた時に先生や生徒に与える鮮明度、インパクトについては、東京書籍はかなり秀でているとの意見が出ています。

委員長
学校教育課長

次に、歴史の教科用図書について、説明を求めます。

専門員会では、すべての教科書について研究を進めていただき、その中で特に、東京書籍(P16)、教育出版(P17)、日本文教出版(P20)の3つの教科用図書を中心に調査報告を受け、協議会といたしましては、協議の結果、P16の東京書籍が最も適切であると判断、選定されました。選定の理由を説明します。

地理と同じように、今までよりも大きいAB版を採用し、写真、グラフ、資料も大きくなりました。非常にダイナミックな印象を与え、生徒の学習意欲を喚起します。

見開きで、学習課題の提示、写真、グラフ等が効果的に配置してあり、50分の授業の流れが、生徒に掴みやすいページ構成になっています。

歴史的分野の場合、今回の改訂の大きな柱である「歴史の大きな流れ、大観」をつかませること、日本が歴史のどういう流れを歩んできたのかということを理解させることが大切です。イラストなどを用いて歴史の流れをわかりやすく表示をしたり、単元のはじめや終わりに、この時代はどんな時代であったのかをつかませる課題等に投げかけが設定されており、歴史の大きな流れ、いわゆる「大観」を理解させることに適しているといえます。

また、学んだことを人物カードにまとめる活動が設定しており、例えば坂本竜馬はどういう人だったのだろうかとか、聖徳太子はどのようなことをやったのかなど、絵をかき、そこに言葉で説明を書いたりするなどの言語活動をとおして、思考力、判断力、表現力を育てることに取り組める構成となっています。以上です。

委員長
柿澤委員
学校教育課長

歴史の教科用図書について、質疑はありませんか。

渋沢栄一翁について詳しく取り上げなくてよいのでしょうか。

このことについては、協議会の話題にあがっております。ただしポイントは、中学校の歴史学習の本質をどう捉えるかです。小学校では42名の人物について歴史学習を進め、その42名に関連づけて、様々な出来事や事件等を通して歴史を学んでいますが、中学校では大切な観点として、歴史を大観させ、歴史の大きな流れをつかませること、日本が歴史のどういう流れを歩んできたかを理解させる事がポイントとなります。

そして、その中で必要に応じて、人物の資料を組み入れていくこととなります。教科書によっては、渋沢栄一翁を見開きで扱っているものもありますが、このような歴史学習の観点から

すると、それだけで教科用図書を採択することは難しいと考えられます。

委員 長 なお、深谷市では小中学校独自で渋沢栄一翁に係る資料等を作成し、学習させていることを付け加えさせていただきます。
 日本の伝統、文化について充実して学習できるようにどのような工夫がされていますか。

学校教育課長 巻頭ページには、「日本の世界遺産」「日本の国宝」の写真が掲載されるとともに、全体を通して世界遺産や国宝の資料にマークを付しながら豊富に掲載しており、巻末には「各地の主な史跡」を写真と地図で紹介する等の学習の工夫を図っています。

教 育 長 今回の教育課程の改正の大きな柱は「言語活動の充実」ですが、その点で、他社と比べてどのような違いがありますか。

学校教育課長 今回取り上げたすべての教科書会社で、「言語活動の充実」を取り上げていますが、東京書籍の教科用図書は、「人物カード」や他の方法を用いて多様な取り組みがなされており、他社より優れているとの話し合いがされています。

西 倉 委 員 各分野の関連付けた考察等で表現、説明は他社と比べて東京書籍が一番分かりやすいのでしょうか。

学校教育課長 見開きの2ページで1時間ごとの内容が分かるようになっており、最初に学習課題があり、最後には「振り返り」が位置づけられていて、自分が何を勉強すべきか分かりやすくなっています。さらに、本文の写真やコメント等は、学習しやすいよう適切に組み込まれている点では、他社より抜き出ているという協議がなされています。

委 員 長 次に、公民の教科用図書について、説明を求めます。

学校教育課長 専門員会では、すべての教科書について研究を進めていただき、その中で特に、東京書籍(P23)、教育出版(P24)、日本文教出版(P27)の3つの教科用図書を中心に調査報告を受け、協議会といたしましては、協議の結果、P23の東京書籍が最も適切であると判断、選定されました。選定の理由を説明します。

 まず、地理歴史同様、版が大きく、AB版であることがあげられます。公民的分野の場合、いろいろな資料から自分で考える活動が多く、版が大きくなったことで自主的な活動の際にも見やすくなったといえます。

 見開きのページの左に学習課題が設定され、右隅の「確認事項」で学習のまとめを行うことなど、見通しを持って学習に取り組め、知識・技能の習得を図れるページ構成であることや、「思考力、判断力、表現力の育成」の観点で、説明させる、考えさせるという活動がしやすい構成であることなどがあげられます。以上です。

- 委員 長 公民の教科用図書について、質疑はありませんか。
- 柿澤委員 社会参画に繋げる内容について取り扱い方はどのようになっているのでしょうか。
- 学校教育課長 東京書籍では社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成の観点から社会への参画について、課題を持たせ、まとめる単元を新設しています。中間発表、議論、プレゼンテーションなどの言語活動を通して、社会科の学習を社会参画や自らの在り方、生き方をメッセージづけられる工夫をしています。
- 教育 長 授業時数の関係で、3年生は公民と、歴史を一部やるようですが、地理、歴史、公民の教科書の出版社が異なると支障でもあるのでしょうか。
- 学校教育課長 同じ出版社の場合は同じ作りなので、教師、子どもにとって使い安さというのはあると思いますが、この選定についてはその点は考えずに、どの教科書が子ども、先生方にとって使いやすいものなのかと言う視点で選定されています。例えば、現行の地理の教科用図書では東書で、地図は帝国書院であり、同じ教科の中でも違う出版社を使っているわけで、そういう観点を取り除いても東京書籍の教科用図書がよいという意見が多かったようです。
- 委員 長 次に、地図の教科用図書について、説明を求めます。
- 学校教育課長 専門員会では、地図の発行者が2社のみのため、東京書籍(P30)、帝国書院(P31)の地図についての調査報告を受け、協議会といたしましては、協議の結果、P31の帝国書院が最も適切であると判断、選定されました。選定の理由を説明します。
- 帝国書院の地図は、長い歴史に支えられているためか、地図がとても鮮明できれいです。
- サイズがA B版の大きなつくりで、日本地図全体や、南アメリカ全体を見る場合にも、見やすく配置できているので、生徒にとっては世界の様子をイメージしやすく、教師も指導しやすいものとなっております。
- 全編にわたって、地図の裏面に資料を配置するページ構成であり、「思考力、判断力、表現力の育成」を継続的に育成するための資料等に多くのページを割いています。以上です。
- 委員 長 地図の教科用図書について、質疑はありませんか。
- 西倉委員 地理の教科用図書は東京書籍で地図は帝国書院ですが、データの関連性で教える側と教わる側で混乱、戸惑い等の心配は大丈夫でしょうか。
- 学校教育課長 若干の戸惑い等はあるかもしれませんが、それ以上に帝国書院の地図は発色がよく、子どもや先生方に与える使いやすさは、帝国書院が一番よいという理由で選ばれています。

委員長
学校教育課長 次に、数学の教科用図書について、説明を求めます。
専門員会では、すべての教科書について研究を進めていただき、その中で特に、東京書籍(P32)、教育出版(P35)、啓林館(P36)の3つの教科用図書を中心に調査報告を受け、協議会としたしましては、協議の結果、P36の啓林館が最も適切であると判断、選定されました。選定の理由を説明します。

第1に、例、あるいは、例題のパターンの異なるものを取り上げ、その解答や証明、計算の手順等も丁寧に記述されており、基礎・基本の定着がより図ることができることがあげられました。

第2に、各章に「ふりかえり算数」とか、「ふりかえり」のコーナーを設け、関連する既習事項を示されており、章末の「基本のたしかめ」や、参照する関連ページの表示など、既習事項を大切にしながら学んでいける構成であることがあげられました。

また、振り返って学習する際、教科書のどこに戻って考えればよいかが示され、学び直し、繰り返し学習に利用できるようになっており、基礎・基本の定着がより図ることができると考えられます。以上です。

委員長
柿澤委員 数学の教科用図書について、質疑はありませんか。
資料の「基礎的、基本的な内容の定着」の具体的な説明をお願いします。

学校教育課長 基礎基本の定着を図る点は、全般的にどの出版社も以前の教科書よりもかなり意識して作られており、小学校からの滑らかな接続という点でどの出版社も構成されています。特に啓林館は本編の後に繰り返し練習用の教材や、「数学の広場」では進んでいる子どもに対して発展的に活用できる内容になっており、躓いたり、分からなくなったらどこへ戻ればよいかがきちんと明記しており、学び直しができ、先生、生徒にとって扱いやすいものになっているとの協議がされています。

柿澤委員 課題提示の際に、身近な資料が指導では有効的といわれていますが、その点ではいかがでしょうか。

学校教育課長 数学科の目標の一番最初の冠に、「数学的活動を通して」という文言が加わり、身近にある教材の中からの課題が数々示されている中で、啓林館では特にいろいろな角度や観点から、学ぶことの意義が実感できるように工夫されています。

柿澤委員 習得や習熟の速い生徒に対しては、どのような配慮がされているのでしょうか。

学校教育課長 「数学の広場」といった、特に進んでいる生徒に対しては、チャレンジ、探究、活用という分野があり、生徒の実態や興味、関心に応じて取り組める内容があるといった点では、啓林館はかなり工夫されています。

委員長
学校教育課長

次に、理科の教科用図書について、説明を求めます。
専門員会では、すべての教科書について研究を進めていただき、その中で特に、東京書籍(P39)、学校図書(P41)、啓林館(P43)の3つの教科用図書を中心に調査報告を受け、協議会といたしましては、協議の結果、P39の東京書籍が最も適切であると判断、選定されました。選定の理由を説明します。

第1に、基礎基本、既習事項の確認、小学校とのつながりが大変確認しやすくなっています。第2に、生徒がつまづきやすい内容がフォローされており、例題等でその強化が図られています。第3に、観察実験の一連の流れがスムーズなことから、教師が指導しやすく、そのことから生徒たちの考えを導き出しやすい構成になっている点があげられました。

また、図のわかりやすさ、色合いの統一感や1年生の教科書などは文字が大きくなっており、小学校からの移行がスムーズに行くように工夫されています。

さらに、原子の掲載や地震の実習課題、放射能の扱い方など、学習指導要領に忠実に沿った形で作成されています。

以上です。

委員長
柿澤委員

理科の教科用図書について、質疑はありませんか。
よく「理科離れ」といった言葉を耳にしますが、東京書籍では興味関心を引くといった点でどのような工夫がされていますか。

学校教育課長

実験についてはどの教科書も工夫されているが、その中で東京書籍はレイアウト、実験の流れや解説が分かりやすくなっており、子どもたちが意欲を持って取り組めるようゲーム感覚を取り入れたり、面白い観点で良く考えられたものが多く、そういった点で理科離れに対応しているとの協議がされています。

教育長

今重要な課題となっている、放射能や地震の取り扱いで差が見られますか。

学校教育課長

地震については、他の出版社では、今の子どもたちが生まれる前の兵庫県南部地震を扱っており、その点、東京書籍は2008年の岩手宮城内陸地震を利用しています。地震をより身近に感じられ、記憶に新しく、子どもたちにとっても、興味関心の高い題材を扱っています。

放射能についても、主体的な学習になるような扱いで、放射線について興味関心を持ち、正しい知識を得るために放射線測定器等を用いた実験を行い、生徒の主体性を図っています。

委員長
学校教育課長

次に、音楽一般の教科用図書について、説明を求めます。
専門員会には、音楽の発行者が2社であることから、教育出版(P44)、教育芸術社(P45)、両社の教科書について研究を進め

ていただき、その調査報告を受け、協議会といたしましては、協議の結果、P45の教育芸術社が最も適切であると判断、選定されました。選定の理由を説明します。

中学校の音楽はたいへん授業時数が少なく、具体的には、1年生が1.3時間、2・3年生が1時間となっております。

その少ない時間の中で音楽の学習をするにあたっては、子どもたちの興味関心を高められる教材が載っている教育芸術社のほうが、子どもたちにも分かりやすく、指導者にも指導しやすい教科書であるとの判断がされています。

あわせて、「指揮をしてみよう」という活動を各学年に設け、生徒が主体的に取り組むような体験活動により、関心意欲を高める工夫があることも、選定の理由となっております。

委員長
柿澤委員

音楽一般の教科用図書について、質疑はありませんか。

主体的に学ぶという点で教育芸術社はどのような工夫がされていますか。

学校教育課長

特に、教育芸術社においては、「確認しよう」のコーナーを各学年に設け、ビンゴゲームやリズムゲームを通して、音符、休符、記号について繰り返し確認、学習する工程になっており、楽しく身につくような工夫がされています。

委員長

音楽の感性を育てたり、豊かにするために、どのような工夫がされていますか。

学校教育課長

教育芸術社では、「知覚」、「感受」、「思考」、「判断」の一連の流れが考慮された内容になっています。

委員長
学校教育課長

次に、器楽合奏の教科用図書について、説明を求めます。

専門員会には、一般同様、教育出版(P46)、教育芸術社(P47)、両社の教科書について研究を進めていただき、その調査報告を受け、協議会といたしましては、協議の結果、P47の教育芸術社が最も適切であると判断、選定いたしました。

第1に、写真の使い方や奏法の示し方等が、教育芸術社は優れており、生徒の発達段階、学習の系統性を考えた場合、生徒が無理なく学習できるのではないかとことです。

第2に、少ない時間の中で、適切な内容と数の曲数が用意されている教育芸術社の方が、指導者にも扱いやすく、生徒にも学習しやすい教科書であるということなどから、選定いたしました。以上です。

委員長
教育長

器楽合奏の教科用図書について、質疑はありませんか。

「言語活動の充実」について、どのような工夫がされていますか。

学校教育課長

「言語活動の充実」を図るという視点では、教育出版社では強く設定しておらず、教育芸術社では、イメージしたことや感じ取ったことを言葉を用いて表す等、主体的な活動を重視する

工夫がされています。

委員長 次に、美術の教科用図書について、説明を求めます。
学校教育課長 専門員会では、開隆堂(P48)、光村(P49)、日文(P50)、すべての教科書について研究を進めていただき、調査報告を受け、協議会といたしましては、協議の結果、P48の開隆堂が最も適切であると判断、選定されました。選定の理由を説明します。

第1に、学校現場で実際に授業を担当している先生方の声をよく集め、リサーチして作った教科書であることがあげられています。

第2に、今まで3冊であったものを、上下併せて、2冊構成に変更したことにより、生徒が活用しやすい、教師が授業をする上で、使いやすいものになったことがあげられています。

これらにより、教科における課題であった、美術における先生方の教科書離れも解決できるのではないかと考えます。

以上です。

委員長 美術の教科用図書について、質疑はありませんか。
田中委員 鑑賞の指導についてどのような工夫がされていますか。
学校教育課長 鑑賞の指導について特に開隆堂では、折込ページの活用や大型図版の掲載によって、美術文化の鑑賞学習の充実が図られており、また、導入等できっかけとなる「問いかけ」が設定され、鑑賞を基にした言語活動が促進されるよう工夫されています。

委員長 次に、保健体育の教科用図書について、説明を求めます。
学校教育課長 専門員会では、すべての教科書について研究を進めていただき、その中で特に、東京書籍(P51)、学研(P54)の2つの教科用図書を中心に調査報告を受け、協議会といたしましては、協議の結果、P51の東京書籍が最も適切であると判断、選定されました。選定の理由を説明します。

まず、スポーツを文化としてとらえた扱いになっており、キャリア教育的な新しい取組があるという教科用図書であることが、評価されました。また、主体的に学習に取り組めるよう工夫されており、写真が多く、生徒がイメージしやすいことがあげられます。

次に、教科書に書き込みができるような形になっており、例えば、「考えてみよう」の下のところでは、資料を見て、教科書に書き込みながら学習を進めていけるようになっています。これは、新たな取組であり、よい点として評価できます。

以上です。

委員長 保健体育の教科用図書について、質疑はありませんか。
柿澤委員 自己評価についてですが、東京書籍ではどのような工夫がされていますか。

学校教育課長 東京書籍では新しい取り組みとして、各単元に知識の習得を確認する「確認の問題」や、知識を活用して「考えてみよう」といった確認の問題を入れて、各自が自己評価しながら学んでいけるように工夫されています。

委員長 次に、技術の教科用図書について、説明を求めます。
学校教育課長 専門員会では、3社すべての教科書について研究を進めていただき、その中で特に、東京書籍(P55)、開隆堂(P57)の2つの教科用図書を中心に調査報告を受け、協議会といたしましては、協議の結果、P57の開隆堂が最も適切であると判断、選定されました。選定の理由を説明します。

第1に、写真やイラスト、爪見出し、豆知識、マーク等、子どもたちが教科書を使って学ぶ上で様々な工夫がなされていることがあげられました。

第2に、学習指導要領に沿った構成であり、教員の方も使いやすいと考えます。具体的には、学習指導要領の学習内容A、B、C、D、例えば木工金工、電気、栽培、情報技術など、その表記に沿って、開隆堂は内容毎の学習目標が示される構成となっています。また、選択の趣旨も充実しております。

以上です。

委員長 技術の教科用図書について、質疑はありませんか。
教育長 今、インターネットや携帯でのネットトラブルがありますが、情報モラルの配慮といった点ではどうでしょうか。

学校教育課長 特に開隆堂では、情報モラルのページが充実しており、ネットワークの安全性という内容で、情報モラルの関係や、私的財産の保護等の、子どもたちに必要な内容がまとめて記述されています。他教科の学習でも基礎となってくるとの観点でも、他社より充実していると思われま

委員長 次に、家庭の教科用図書について、説明を求めます。
学校教育課長 専門員会では、3社すべての教科書について研究を進めていただき、その中で特に、東京書籍(P58)、開隆堂(P60)の2つの教科用図書を中心に調査報告を受け、協議会といたしましては、協議の結果、P60の開隆堂が最も適切であると判断、選定されました。選定の理由を説明します。

写真は東京書籍の方がきれいに見えますが、開隆堂は、写真の他にグラフやイラスト等を適所に用いて工夫が図られています。

技術分野同様、指導者にとっては、学習指導要領の表記に忠実である方が指導しやすいと言えます。

特に、学習指導要領で今回から取り上げられている食品に関する「概量」、例えば食パン6枚切り1枚60グラム、キュウ

リ 1 本 100 グラム 11 キロカロリーなど、見かけ上の分量について丁寧に扱われています。

さらに、開隆堂は実習例なども大変多く扱っており、発展の扱いとして「弁当を作ろう」というものがあります。食育として、子どもたちが家庭で親子さんと弁当を作る内容を教科書で扱っておくことは大切なことだと思われま。以上です。

委員 長
教 育 長
学校教育課長

家庭の教科用図書について、質疑はありませんか。

他社とで扱いが違う点がありますか。

幼児とのふれあいについては、幼児とのふれあい体験を振り返り、関わりで感じた事や考えたことを、話し合う活動が設定されています。特に開隆堂では、感想をまとめ新聞やレポートにまとめ「言語活動の充実」を図り、幼児の理解を深めるという点で、他社よりも優れているとの意見がありました。

委員 長
学校教育課長

次に、英語の教科用図書について、説明を求めます。

専門員会では、すべての教科書について研究を進めていただき、その中で特に、開隆堂(P62)、学校図書(P63)の2つの教科用図書を中心に調査報告を受け、協議会といたしましては、協議の結果、P62の開隆堂が最も適切であると判断、選定されました。選定の理由を説明します。

第1に、開隆堂「サンシャイン」は学習者及び指導者にとって丁寧に作られています。例えば、生徒が学習しているときに、その学習が広がっていくように参照となるページが具体的に示されています。

次に、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を総合的に育成するための表現活動は、各社とも力を入れておりますが、特に開隆堂の「My Project」は、子どもが学習しやすいように段階を踏んで構成されているということもあげられました。

以上です。

委員 長
委員 長
学校教育課長

英語の教科用図書について、質疑はありませんか。

英語を通してのコミュニケーションを積極的に行おうとするために、開隆堂ではどのような工夫がされていますか。

特に、開隆堂では、コミュニケーション能力の基礎を培うために、小学校での外国語活動とのスムーズな橋渡しと、基礎基本の徹底を重視「習得→習熟→活用」のプロセスを大切にしています。また、自己発信型のコミュニケーション能力の育成、自分のこと、身の回りのことを発信することから始めて、身近な日本の文化を積極的に発信できるコミュニケーション能力を育てるといった3つの視点で、力を入れています。

教 育 長
学校教育課長

辞書の指導の点では教科書によって差がありますか。

両社とも使い方等は示されており、どの会社も工夫されています。特に開隆堂では、辞書指導が早い段階で設定されており、

主体的な学びをサポートしている点では、一番秀でていたとの協議がされています。

委員長 これにて、すべての種目について、説明及び質疑が終了しました。
ここからは非公開といたします。
【非公開につき内容は省略】

【議案は原案のとおり可決・確定】

委員長 ここからは、公開といたします。

② 議事2 議案第40号 深谷市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則

委員長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 議案第40号「深谷市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則」について、埼玉県学校職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び同規則の一部改正に伴い、病気休暇の承認に係る教育委員会の指示を要する日数を改めたいので、この案を提出するものです。

委員長 本議案について、質疑はありますか。
(質疑なし)

委員長 本議案について、討論はありますか。
(討論なし)

本議案について、採決をいたします。
本議案を原案のとおり決することに賛成のかたは挙手をお願いします。
(全員賛成)

本議案は、原案のとおり可決、確定いたしました。

③ 議事3 議案第41号 深谷市立小・中学校職員服務規程の一部を改正する訓令

委員長 事務局より説明を求めます。

学校教育課長 議案第41号「深谷市立小・中学校職員服務規程の一部を改正する訓令」について、埼玉県学校職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び同規則の一部改正並びに埼玉県職員の修学部分休業に関する条例及び埼玉県職員の自己啓発等休業に関する条例の制定に伴い、承認申請等に係る手続を定めるとともに、条文の整備等をしたいので、この案を提出するものです。

委員長 本議案について、質疑はありますか。
(質疑なし)

委員長 本議案について、討論はありますか。
(討論なし)

本議案について、採決をいたします。

本議案を原案のとおり決することに賛成のかたは挙手をお願いします。

(全員賛成)

本議案は、原案のとおり可決、確定いたしました。

委員 長 他に、事務局より報告等はありませんか。
(その他報告なし)

委員 長 本日の議事はすべて終了いたしました。
次回の会議、第8回定例会は8月9日(火)午後1時30分開会です。

以上で、平成23年深谷市教育委員会第4回臨時会を閉会いたします。